

水稲



農作業メモ



水稲

田代 好幸

農畜産課

0969-22-1105

①水田除草剤の適正使用

農薬は、あらかじめ品質・効果・残留性などが、基準によりチェックされ、問題がないと判断された薬剤が農林水産大臣の登録を受け、販売・流通しています。

水田除草剤として製品に貼付されているラベルには効果や薬害、残留性等から設定された使用基準や使用上の注意事項が記載されています。その内容を遵守して使用してください。薬剤の特長や散布方法を把握し効率よく利用し、特に**散布時**や**散布後数日間（7日程度）の水管理**には十分注意を払う必要があります。湛水状態を保つことは、安定した除草効果が得られるばかりでなく水田水系外への除草剤成分の流出を防止するためにも重要となります。

散布した除草剤の有効成分は水田土壌の表層に吸着されて除草効果を発揮します。安定した効果を得るためには、この処理層を壊さない水管理が大切です。落水や漏出を防ぎ、掛け流しを行わないようにしましょう。

また、水が少なくなり田面が露出するとその部分の除草効果が低下しますので減少分をその都度補充してください。

尚、今年産より藻類対策のモゲトン粒剤もしくは、1度目の散布で効果が出ない場合のアトリ粒剤のどちらか一方の利用が可能とします。

※特裁米の除草剤は、「ボデーガード」です。

②有効茎数の確保と中干し

除草期間が終了したら有効茎数を確保するために暖かい日中は浅水管理で分げつの促進に努めてください。1株の茎数が18本程度確保できたら中干しを行ってください。（平年では5月20日頃より）水管理を容易にするために、中干し前の土が軟らかい時に「溝切り」を行いましょう。

③中間施肥 病虫害防除

中干し前に、茎を丈夫にするために珪酸加里を10アールに20kg程度を施用してください。

補植苗は病虫害の発生要因となりますので、早めに取り除きましょう。また、畦畔の除草による耕種的防除に努めましょう。



野菜



野菜類防除基準



野菜

平田 優輝

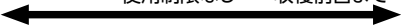
下島管農指導センター
080-1729-1639

※適用作物名が『野菜類』となっており、家庭菜園にも比較的に使いやすい薬剤です。春先から虫、病気の発生が多くなりますのでご注意ください。

Ⅰ. 病虫害防除

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病 害	灰色かび病		立枯病				立枯病				灰色かび病	
					黒斑病、斑点細菌病							
			軟腐病、べと病				軟腐病、べと病					
					うどんこ病							
					さび病						さび病	
虫 害	アブラムシ・ハダニ											
	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、オオタバコガ											

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病害	灰色かび病	ボトキラー水和剤 1 000倍			使用回数制限なし			発病前					
	斑点細菌病	コサイドボルドー 1000倍 使用制限なし											
	黒斑病	Zボルドー 500倍 使用制限なし											
	軟腐病												
	うどんこ病	カリグリーン 800～1000倍 回数制限なし 収穫前日まで (トマト・ミニトマトは除く)						ハーモメイト水溶剤 800～ 1000倍 使用制限なし 収穫前日まで					
	さび病	硫黄粉剤50 3kg／10a						ジーファイン水和剤 1000 倍 使用制限なし 収穫前 日まで (なすは除く)					

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
虫 害	アブラムシ	サンクリスタル乳剤 300倍					収穫前日まで (なす・トマト・ミニトマトは除く)						
	ハダニ	硫黄粉剤50 3kg/10a		アカリタッチ乳剤		1000～3000倍 使用制限なし 収穫前日まで							
													
	アオムシ	デルフィン顆粒水和剤 1000倍					使用制限なし		収穫前日まで 発生初期				
	コナガ	ゼンターリ顆粒水和剤 1000～2000倍					使用制限なし		収穫前日まで 発生初期 (はくさいは除く)				
	ヨトウムシ	トアローフロアブルCT 1000～2000倍					使用制限なし		収穫前日まで 発生初期 (※オオタバコガ 500～1,000倍)				
	オオタバコガ	※上記の剤は同一種類剤 (BT剤) のため、散布回数は、総計で4回まで											
													

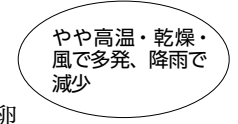
病害防除

- 降雨の後に防除
- チッソが効いて軟弱な場合には注意
- 温度が下がってきたら、べと病の防除
- 乾燥してきたらうどん粉病の防除
- 雨が多い場合は細菌病、カビ病ともに予防剤散布
- 風が良く当たるところでは細菌病が多い（防風ネット利用）



虫害防除

- 強い風が吹いたら、虫が増える
- 乾燥したらダニが増える
- 雨が多いと、全般的に虫は少ない
- 虫が見えたら防除。7日～14日後に卵や蛹が成虫になるのでまた防除。
- ※ 防除薬剤は「薬剤の種類」、「希釈倍数」、「散布液量」、「散布回数」に注意し、基準を厳守する。



果
樹



3月・4月の柑橘園管理



果 樹

木 蜜 栄 次
上島営農指導センター
080-1759-0088

1. 病害虫防除

対象病害虫	品 種	農薬名	希釈倍数	水1000ℓ当りの 使用量	散布時期
そうか病	温 州	デランフロアブル	1,000倍	100mℓ	上旬 (発芽3mm頃)
かいよう病	中晩柑	コサイド3000 加用 クレフノン	2,000倍 200倍	50g 500g	開花前 (かいよう病の発生 が心配される園)
ケシキスイ類 コアオハナム グリ	全品種	モスピランSL液剤	4,000倍	25mℓ	開花期
灰色カビ病	全品種	ファンタジスタ顆 粒水和剤	4,000倍	25g	開花期
ホコリダニ	中晩柑	アグリメック	2,000倍	50mℓ	5月中旬～下旬 (開花盛期～落弁期)
黒点病	全品種	ナティーボフロア ブル	1,500倍	66.6g	

※そうか病対策でフロンスайд(SC)2,000倍も使用可。
※ケシキスイ類、コアオハナムグリには、エクシレルSE
5,000倍も使用可。
※灰色カビ、そうか病はフルーツセイバー 1,500倍も使
用可。
※カイガラムシが多い園では、モベントフロアブル
2,000倍を散布。

2. 施 肥

○通常タイプ

対象品種	肥料名	施肥時期	10a当たり
全品種	硫マグエース	4月上旬	2袋
早生・中熟・普通 温州	ニュー熊本果樹2号	4月上旬	5袋
デコポン	ニュー熊本果樹3号	4月上旬	3袋

※着花が多すぎる場合および中晩柑一発肥料を使用されてい
る人は、花肥としてハイヤ1号を1袋/10a施用。(初蕾期)

3. 葉面散布

目的	薬 剤 名	希釈 倍数	備 考
樹勢 回復	尿 素又は アミノジューシーN14 又は 神協スピリッツ	500倍	収穫後：3回程度集中散布 及び発芽～新梢伸長期
緑化 促進	葉面マグ	200 倍	緑化が遅れそうな場合

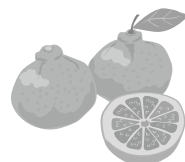
4. 着果対策(かんきつ)

ジベレリンの散布…ジベレリンを散布する事により、着果性が向上
します。主に赤道部を中心に散布しましょう。
尿素を500倍加用する事により効果が上がり
ます。

○使用時期…開花～満開10日後（開花後処理時期が早いほ
ど効果が高い）

○ジベレリン希釈表(開花期 25ppm)

ジベレリン液剤 40ml の場合	水8ℓに1本	尿素 500倍 (16g)	使用液量 10a 当たり50～100ℓ
ジベレリン液剤 100ml の場合	水20ℓに1本	尿素 500倍 (40g)	



水稲用一発肥料にはプラスチックが使われています。 水田から流出させない対策をお願いします

水稲用一発肥料などの被覆肥料は、プラスチック等で肥料をコーティングしているため、肥効の
調節が可能です。

施肥回数現による軽労化、施肥量の削減、養分の流出防止などの利点がありますが、一方で肥料
成分が溶出した後の被膜殻が河川や海へ流出することが問題になっています。



殻を流さないために



対策1 浅水代かき



対策2 捕集ネットの使用